

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年5月31日

一足下の経済動向が分かる一
埼玉県鉱工業指数について
(令和4年3月分、令和4年第1四半期分)

鉱工業指数は景気や経済の動きを把握することを目的としており、製造業の事業所における活動状況を表すものです。

景気の動きに敏感で、速報性があるため足下の景気動向を判断する指標の1つとなります。

● 令和4年3月分

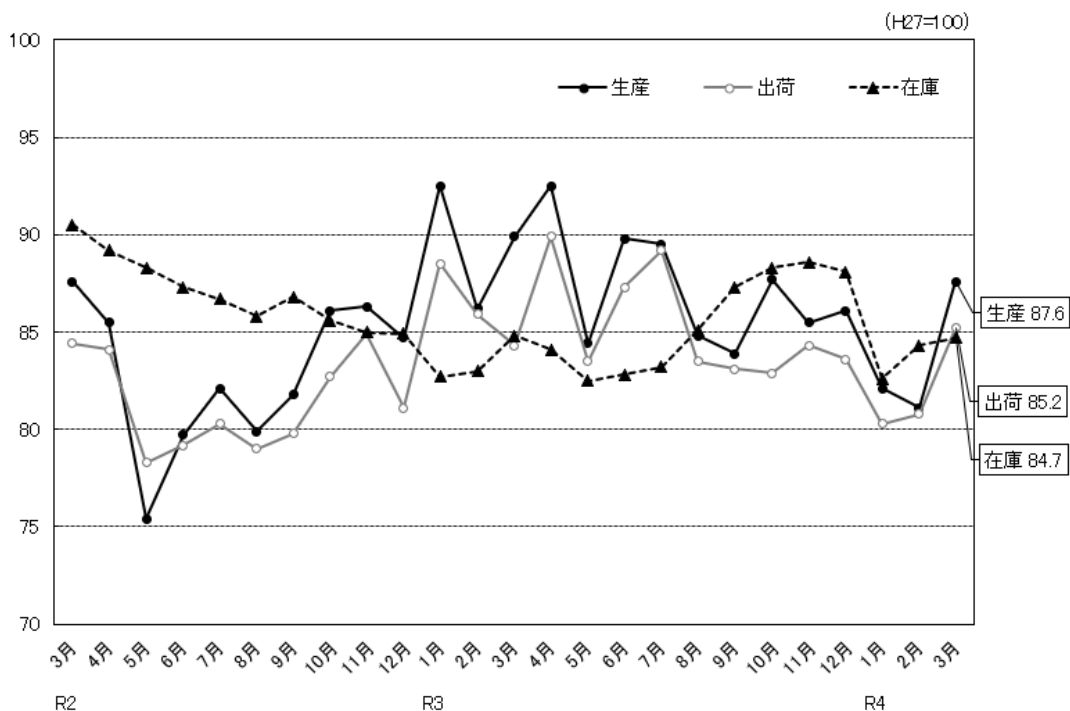
生産は3か月ぶりの上昇、出荷は2か月連続の上昇

1 概要

令和4年3月の生産指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの上昇により3か月ぶりの上昇となりました。出荷指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの上昇により2か月連続の上昇となりました。在庫指数は2か月連続の上昇、在庫率指数は4か月連続の低下となっています。

(平成27年=100)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
生産	87.6	8.0	-3.5
出荷	85.2	5.4	-0.5
在庫	84.7	0.5	-0.1
在庫率	93.5	-12.2	-4.2



2 業種・品目別動向（生産・出荷 23 業種）

＜ 生産 ＞ 上昇・13 業種、低下・10 業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など 13 業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、医薬品などを含む化学工業などの業種で低下しました。

＜ 出荷 ＞ 上昇・14 業種、低下・9 業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など 14 業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、空気圧機器などを含む汎用機械工業などの業種で低下しました。

● 令和 4 年第 1 四半期分

生産は 2 期ぶりの低下、出荷は 3 期連続の低下

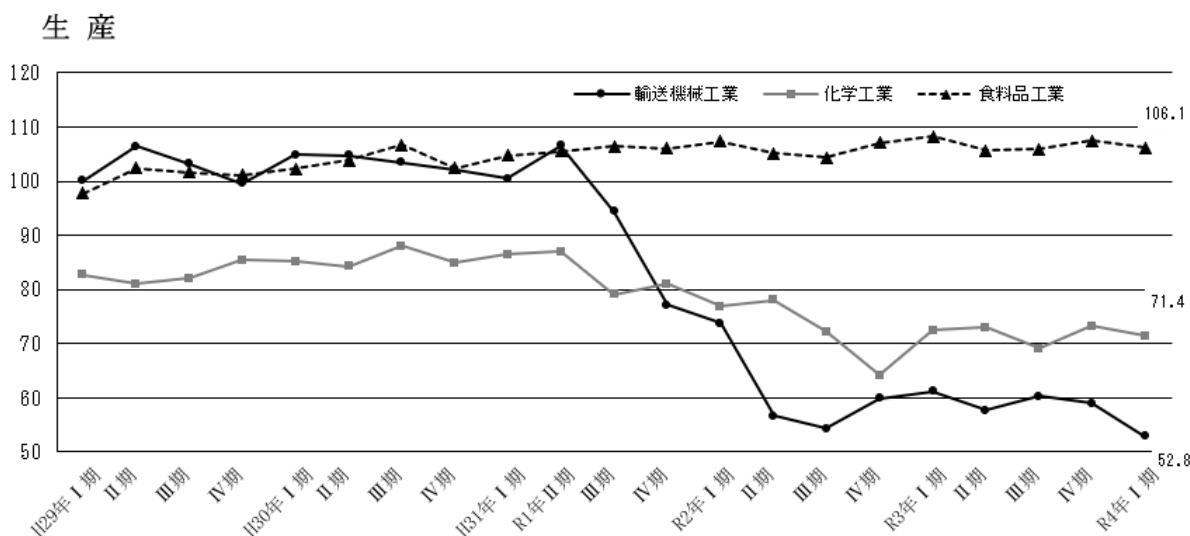
1 概要

令和 4 年第 1 四半期(令和 4 年 1 月～令和 4 年 3 月期)の生産指数は、金属製品工業、生産用機械工業などの低下により 2 期ぶりの低下となりました。出荷指数は、輸送機械工業、金属製品工業などの低下により 3 期連続の低下となりました。在庫指数及び在庫率指数は 3 期ぶりの低下となっています。

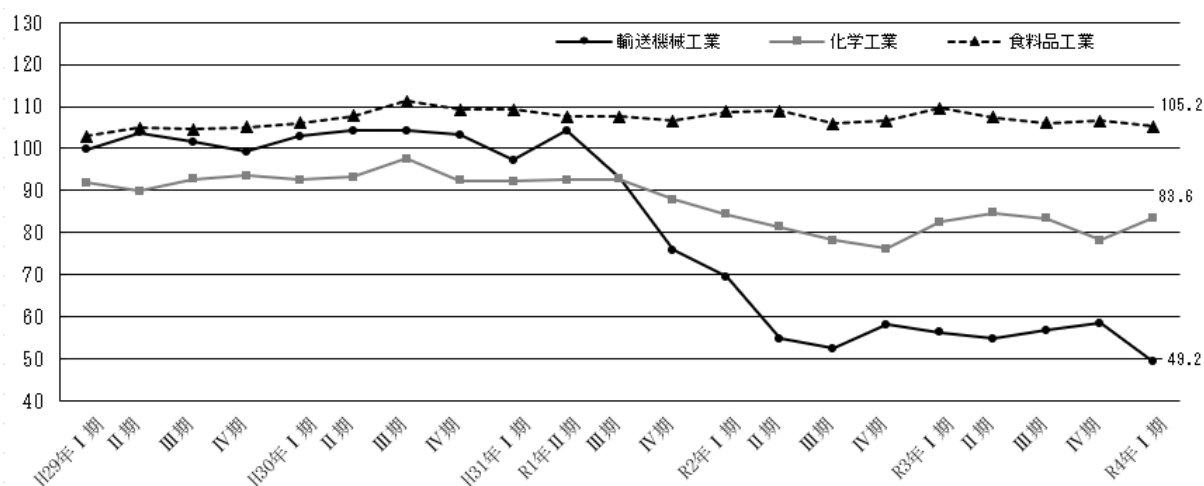
(平成 27 年=100)

	指 数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生 産	83.6	-3.2	-6.4
出 荷	82.1	-1.8	-4.6
在 庫	84.7	-3.9	-0.1
在 庫 率	102.7	-7.2	-3.1

県内主要業種の指数推移



出荷



2 業種・品目別動向（生産・出荷 23 業種）

＜生産＞ 上昇・7業種、低下・15業種、横ばい・1業種

アルミエクステリアなどを含む金属製品工業、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業など 15 業種で低下しました。

一方で、パチンコなどを含む業務用機械工業、その他のプラスチック製品などを含むプラスチック製品工業などの業種で上昇しました。

＜出荷＞ 上昇・11業種、低下・12業種

乗用車などを含む輸送機械工業、アルミエクステリアなどを含む金属製品工業など 12 業種で低下しました。

一方で、医薬品などを含む化学工業、パチンコを含む業務用機械工業などの業種で上昇しました。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県鉱工業指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a099/index.html>